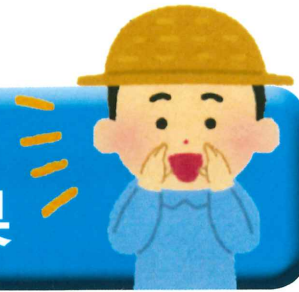


第五次地域農業振興計画に伴う

組合員意向調査結果



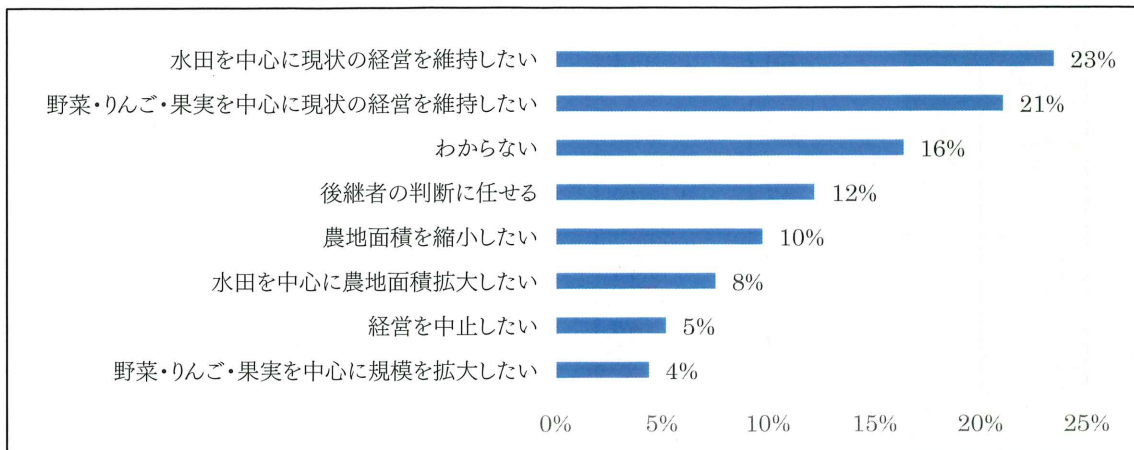
組合員意向調査の実施にあたり、生産者の皆様には

多大なご理解とご協力のもと、貴重なご意見を賜り深く感謝申し上げます。

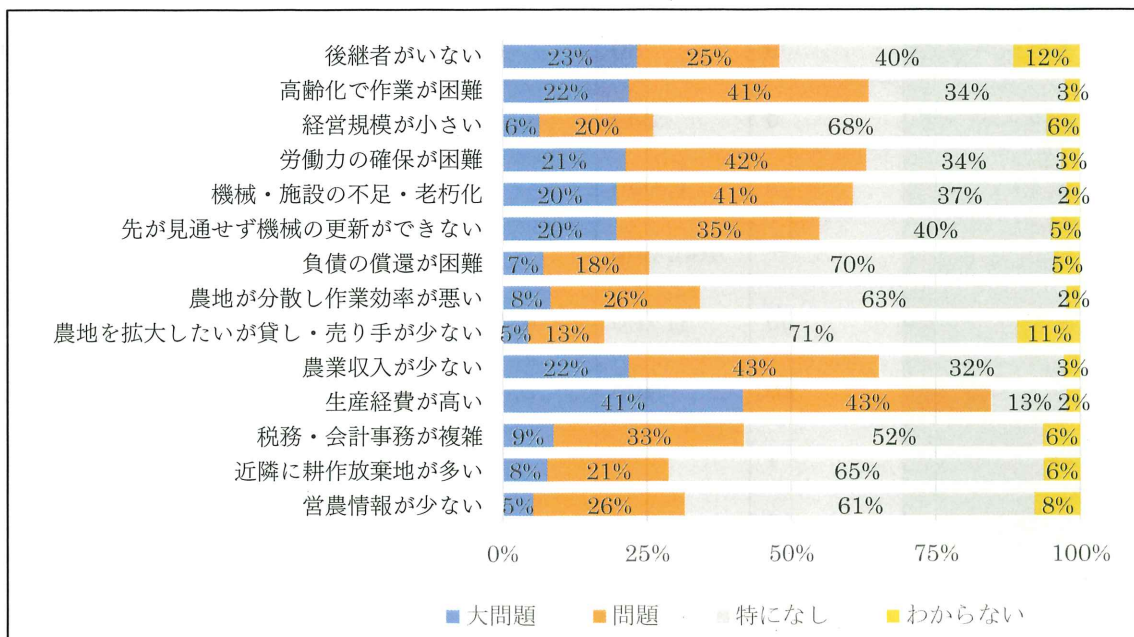
調査実施日：令和5年5月

《対象者数：生産部会員1,731名 回答数：1,432名 回収率：83%》

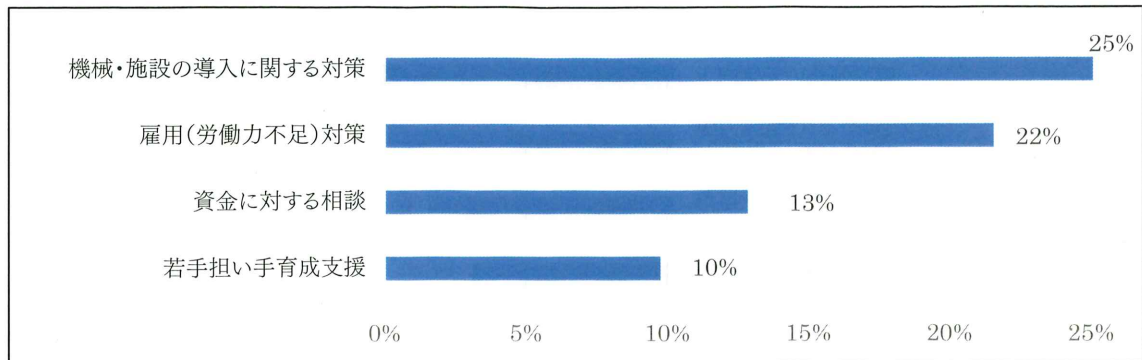
【設問】3年後の経営規模の将来意向についてお聞きします。



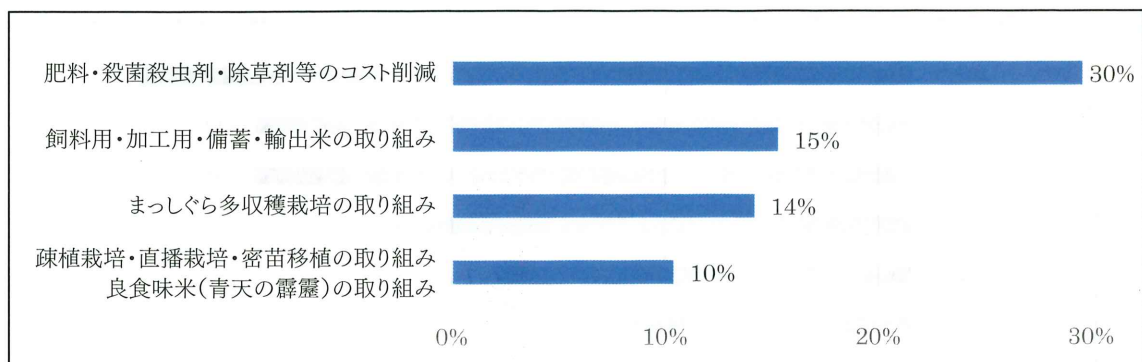
【設問】あなたの経営では、次のことが問題になっていますか。



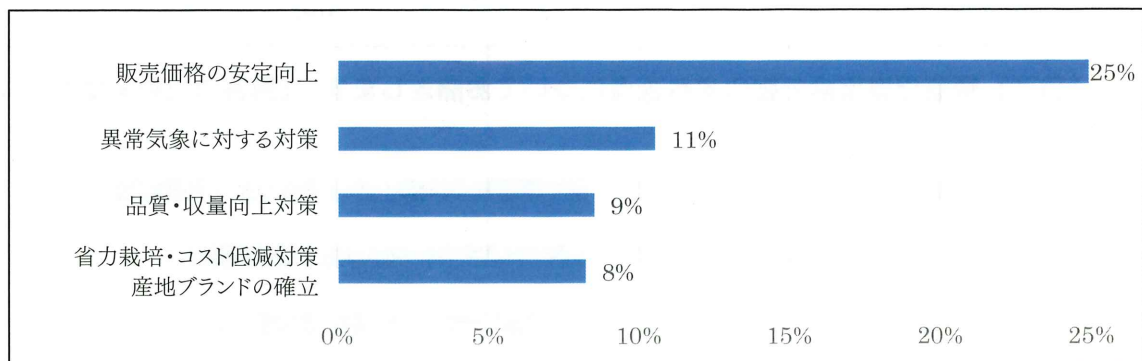
【設問】 今後必要だと思われる支援について何を期待しますか。(回答の上位4つを抜粋)



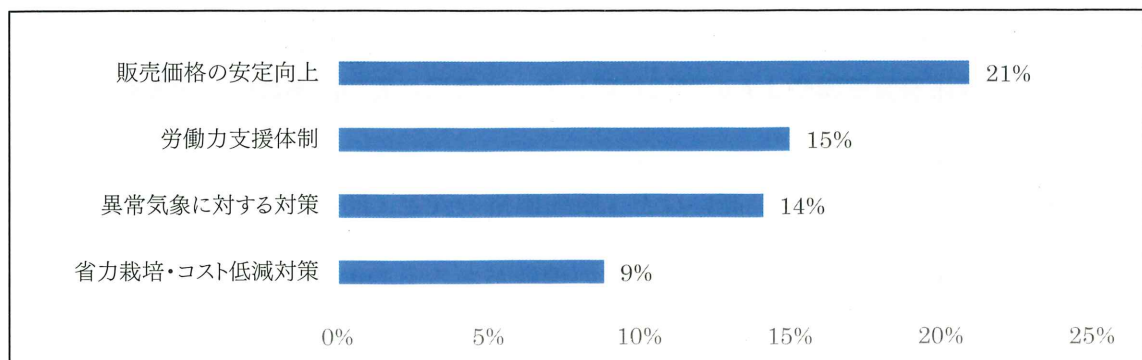
【設問】 米穀の振興についてお聞きします。(回答の上位4つを抜粋)



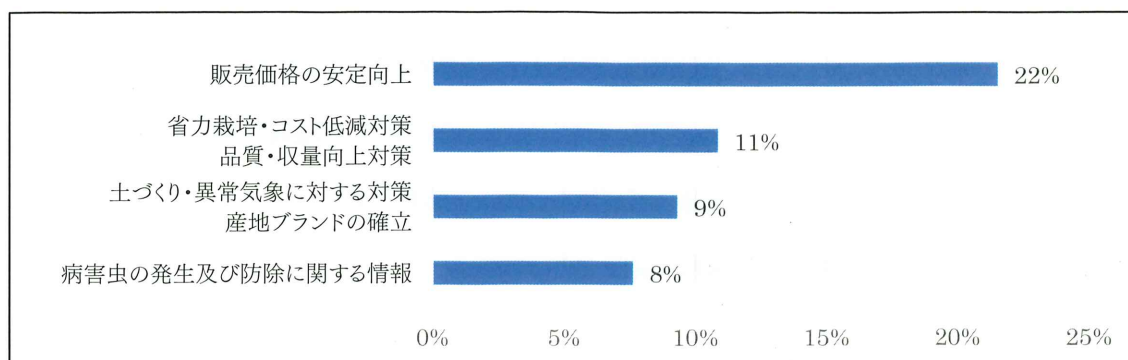
【設問】 やさい・花きの振興についてお聞きします。(回答の上位4つを抜粋)



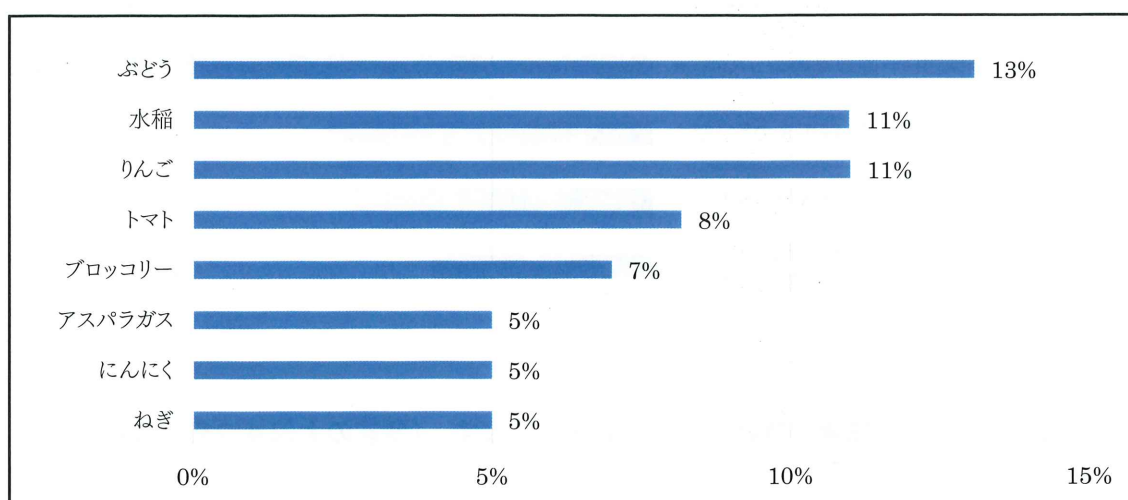
【設問】 りんごの振興についてお聞きします。(回答の上位4つを抜粋)



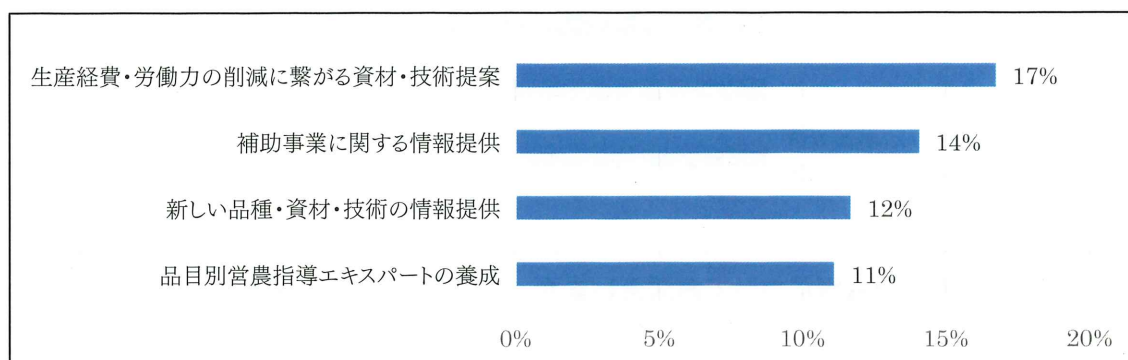
【設問】 すいか・メロン・ぶどうの振興についてお聞きします。(回答の上位4つを抜粋)



【設問】 産地化していくために必要と思われる品目は何ですか。(回答の上位5つを抜粋)



【設問】 営農指導事業で強化すべき点についてお聞きします。(回答の上位4つを抜粋)



【設問】 地域農業振興やJAの運営に関して、ご意見ご要望があればご記入ください。

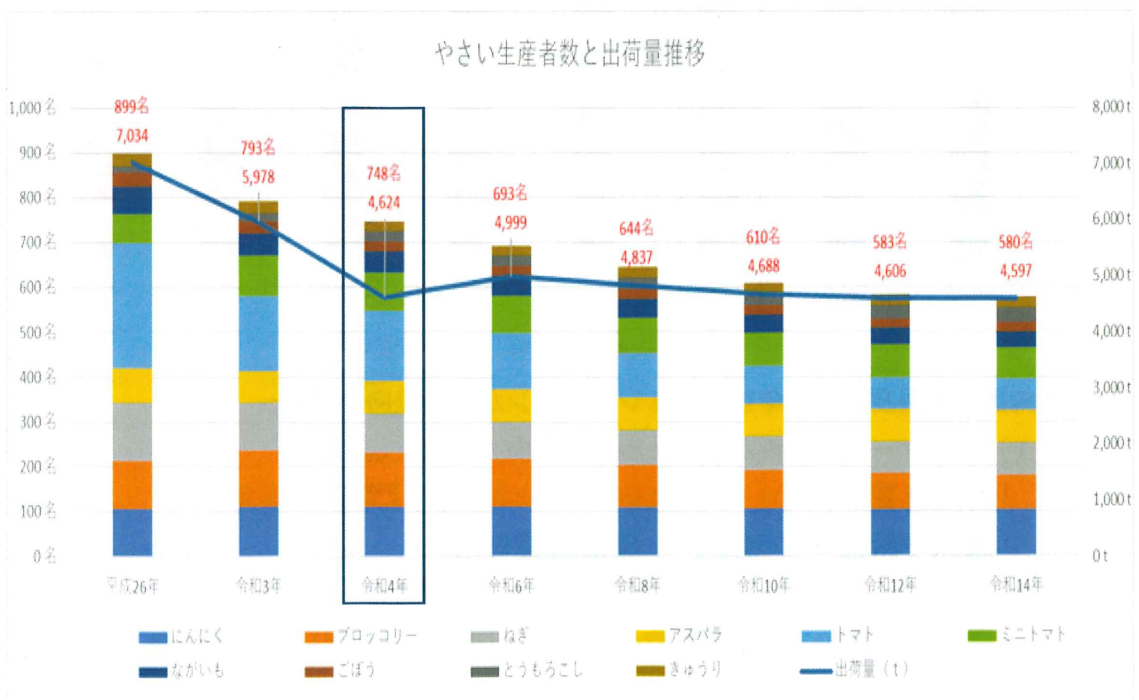
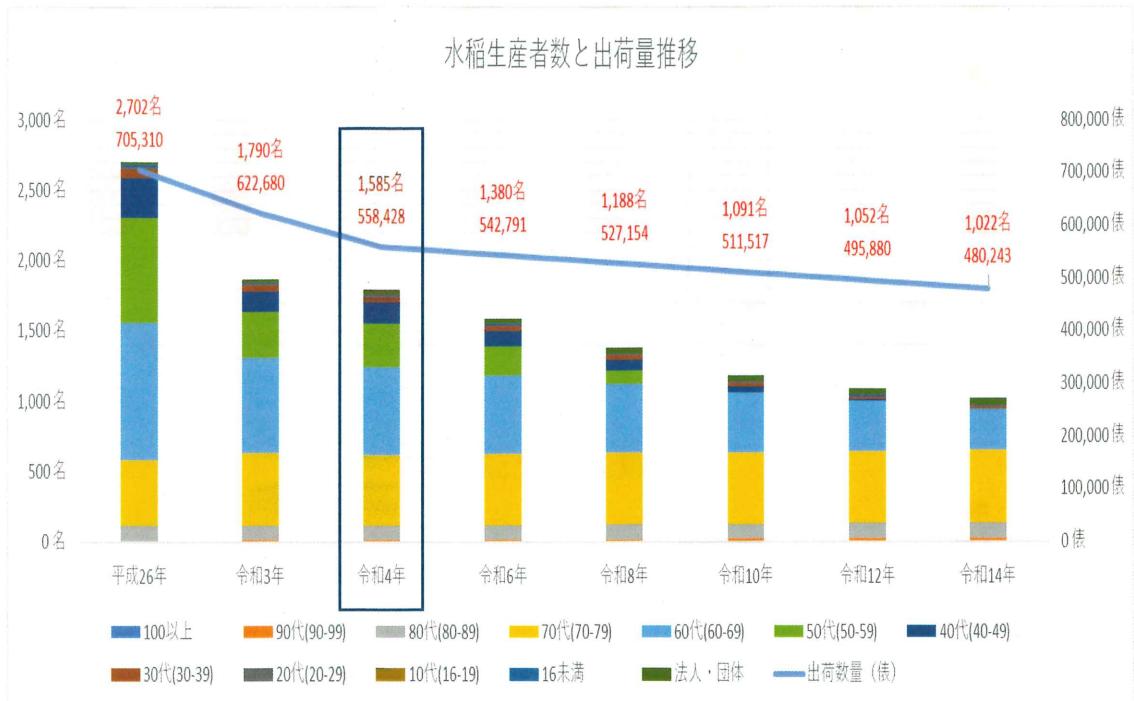
肥料・農薬、ガソリンスタンドの燃料価格など『購買品が高い』という意見や、販売単価が安い・出荷手数料が高いなど『販売価格の安定・向上』に対する要望が多くありました。

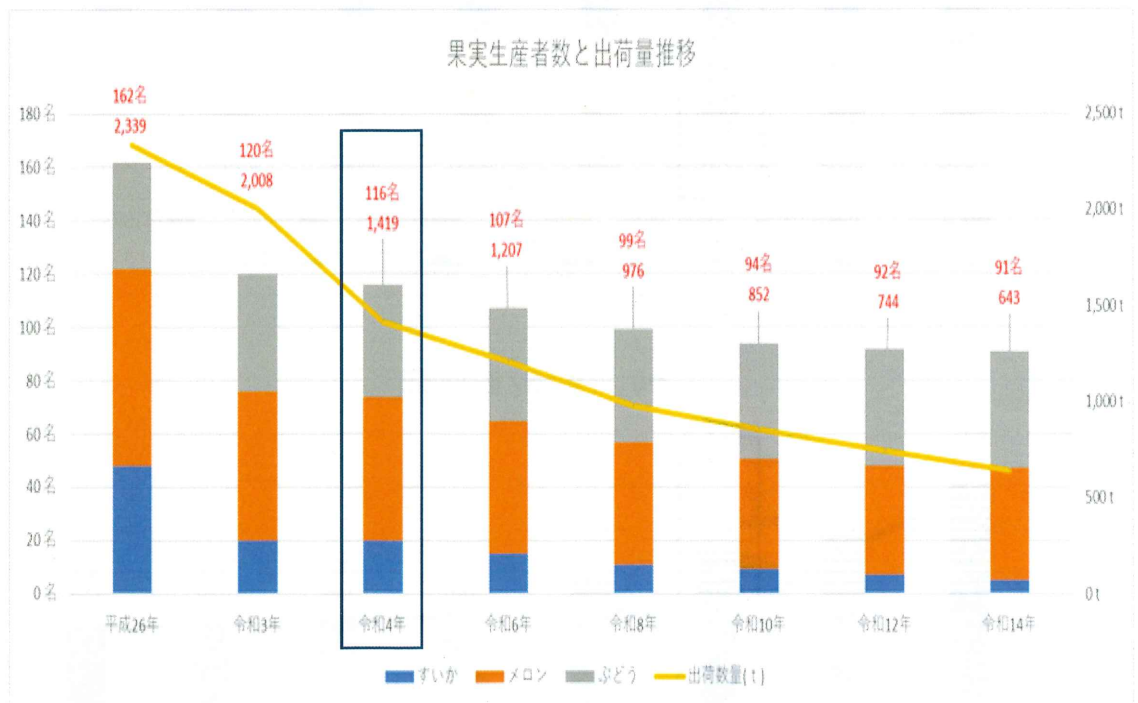
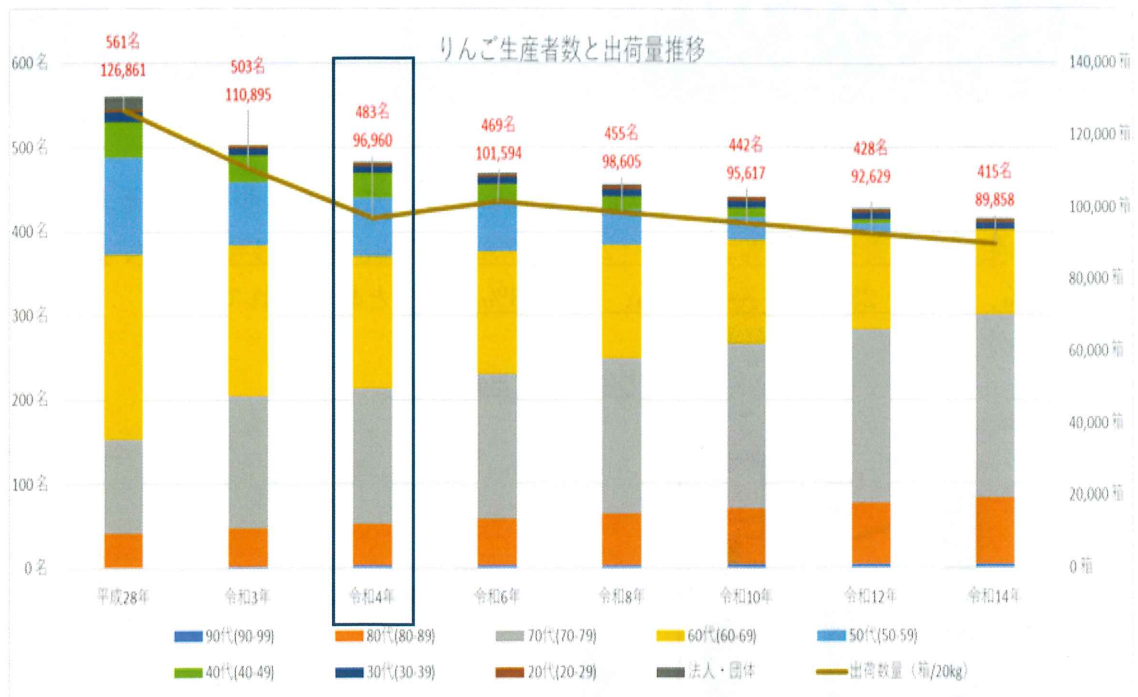
また、JA職員の人員不足にも一定の理解があるものの『営農指導員の巡回・レベル向上』や、購買資材の在庫不足、金融・共済がない事業所は不便など『JAの運営・体制』に対する意見もありました。

現状と10年後シミュレーション

生産者数と出荷量は年々減少している。

過去の減少率をもとに今後10年間の見通しについて、令和4年を基準とした令和14年には生産者数で水稲42%、やさい27%、りんご17%、果実24%の減少、出荷量で水稲14%、やさい23%、りんご18%、果実68%の減少と想定されている。





意向調査結果及び10年後シミュレーションからの意向、課題

(1) アンケートの分析からみえる主な意向、課題

「生産経費が高い」・「農業収入が少ない」・「労働力不足」
 「機械や設備への対応」・「異常災害対策」

(2) 10年後シミュレーションの分析からみえる課題

「農家の高齢化」・「農家数の減少」・「生産（出荷）量の減少」